



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年2月10日

上場会社名 WDBココ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7079 URL <https://www.wdbcoco.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷口 晴彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 藤原 素行 (TEL) 03-5144-2250
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (電話会議、機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の業績 (2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	3,051	14.2	860	6.3	862	6.6	545	7.3
2022年3月期第3四半期	2,672	42.2	809	96.3	809	95.1	508	86.4
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年3月期第3四半期	228.52		227.11					
2022年3月期第3四半期	215.23		211.87					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	3,376	2,598	76.9
2022年3月期	3,133	2,148	68.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 2,598百万円 2022年3月期 2,148百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	41.00	41.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想 (2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,950	9.3	973	1.0	973	1.0	652	0.7	273.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期3Q	2,388,500株	2022年3月期	2,388,500株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2023年3月期3Q	121株	2022年3月期	121株
------------	------	----------	------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期3Q	2,388,379株	2022年3月期3Q	2,362,930株
------------	------------	------------	------------

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社が顧客とする日本国内の製薬業界は、少子高齢化により増加する社会保障費を抑制するため、薬価改定によって医薬品の価格が引き下げられるとともに後発医薬品の使用の促進により、市場規模においては世界第4位であるものの、その成長は横ばいを続けています。さらに、バイオ医薬品による開発やAIの利用により創薬手法が高コスト化・高難度化し、また、各種規制の強化への対応が求められることによって、製薬企業の収益構造は変化をしています。そのため、持続的な成長のためにビジネスモデルの変革を求められている製薬企業においては、医薬品開発を委託するCROに対して、従来のように業務処理を行うだけではなく、コスト構造や業務効率の抜本的見直しといったニーズを適切に把握し、課題解決の提案を行うパートナーとしての姿勢を期待するようになってきています。

このような状況の中、当社は「仕事の成果の保証」と「新しい価値の提供」を通じて、お客様の課題を解決し医療の未来に貢献することを経営理念とし、最新のテクノロジーと優れたビジネスモデルを用いて、顧客に最適な業務プロセスを提案・実施する製薬企業にとって不可欠なパートナーとして、「安全性情報管理サービス」を主軸に、「ドキュメントサポートサービス」、「開発サポートサービス」、「臨床開発支援サービス」を展開しております。

当第3四半期累計期間においては、前第2四半期に計上した短期大型案件の売上の剥落があったものの、安全性情報管理、開発サポート、ドキュメントサポートの各サービスにおいて、前第4四半期以降に稼働を開始した複数の新規顧客からの受託案件、既存顧客からの追加の受託案件や短期大型案件が売上に寄与するとともに、既存案件の売上高が堅調に推移いたしました。また、第1四半期に稼働を開始した新規案件および2023年3月期下期に稼働を開始した大型案件に対応するための人員の確保と育成を計画的に行ったほか、利益率の低い受託案件の生産性の向上、所定労働時間の短縮や研修の拡充といった、長期的にサービスを維持・向上させていくための施策を戦略的に行いました。

この結果、売上高は3,051百万円と前年同期比378百万円(14.2%増)の増収となりました。また、営業利益は860百万円と前年同期比51百万円(6.3%増)の増益、経常利益は862百万円と前年同期比53百万円(6.6%増)の増益、四半期純利益は545百万円と前年同期比37百万円(7.3%増)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期末における流動資産は3,013百万円と前事業年度末と比べ254百万円(9.2%増)の増加となりました。これは主に、現金及び預金の増加84百万円、売掛金及び契約資産の増加184百万円によるものです。

(固定資産)

当第3四半期末における固定資産は363百万円と前事業年度末と比べ11百万円(3.1%減)の減少となりました。これは主に、繰延税金資産13百万円の減少によるものです。

(流動負債)

当第3四半期末における流動負債は641百万円と前事業年度末と比べ213百万円(25.0%減)の減少となりました。これは主に、未払金133百万円の減少、未払法人税等149百万円の減少、賞与引当金79百万円の増加によるものです。

(固定負債)

当第3四半期末における固定負債は137百万円と前事業年度末と比べ6百万円(5.3%増)の増加となりました。これは主に、退職給付引当金の増加12百万円によるものです。

(純資産)

当第3四半期末における純資産は2,598百万円と前事業年度末と比べ450百万円(21.0%増)の増加となりました。これは主に、四半期純利益545百万円の増加、配当の支払いによる95百万円の減少によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでいます。新型コロナウイルス感染症の収束時期について不透明であることから、その影響が通期に渡り継続したと想定し、その影響を織り込んでおります。2023年3月期の業績予想につきましては、2022年5月13日に公表しました「2022年3月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」において発表しております、売上高3,950百万円、営業利益973百万円、経常利益973百万円、当期純利益652百万円のまま、業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,888,588	1,973,395
売掛金及び契約資産	839,248	1,023,496
仕掛品	4,486	—
その他	26,493	16,815
流動資産合計	2,758,817	3,013,707
固定資産		
有形固定資産	154,349	139,485
無形固定資産	13,525	30,665
投資その他の資産	206,974	193,111
固定資産合計	374,849	363,262
資産合計	3,133,667	3,376,969
負債の部		
流動負債		
買掛金	77,762	89,764
未払法人税等	290,106	140,893
賞与引当金	82,625	162,344
受注損失引当金	24,120	980
その他	380,784	247,628
流動負債合計	855,397	641,611
固定負債		
退職給付引当金	71,966	84,213
資産除去債務	34,947	34,959
その他	23,276	17,854
固定負債合計	130,189	137,027
負債合計	985,587	778,638
純資産の部		
株主資本		
資本金	275,940	275,940
資本剰余金	275,940	275,940
利益剰余金	1,596,666	2,046,917
自己株式	△467	△467
株主資本合計	2,148,079	2,598,330
純資産合計	2,148,079	2,598,330
負債純資産合計	3,133,667	3,376,969

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	2,672,356	3,051,213
売上原価	1,530,834	1,825,205
売上総利益	1,141,521	1,226,008
販売費及び一般管理費	332,136	365,254
営業利益	809,385	860,754
営業外収益		
受取利息	6	8
助成金収入	8	2,188
その他	—	29
営業外収益合計	14	2,225
営業外費用		
支払利息	95	124
その他	1	—
営業外費用合計	97	124
経常利益	809,301	862,855
特別損失		
固定資産除却損	286	—
移転費用	267	—
特別損失合計	554	—
税引前四半期純利益	808,747	862,855
法人税、住民税及び事業税	309,085	303,219
法人税等調整額	△8,911	13,850
法人税等合計	300,173	317,069
四半期純利益	508,573	545,786

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の事業セグメントは、CRO事業のみの単一セグメントであり、重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。